

- 1 会議名 第12回公共施設再配置計画検討協議会
- 2 日時 平成30年6月20日（水）
午後1時15分から午後2時40分まで
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 全議員（黒川議長は公務のため途中参加）
- 5 出席者 総務部長 山田日出雄、建設部長 片岡和浩、教育こども未来部長 長谷川忍、都市整備課長 西村忠寿、同営繕グループ主幹 石黒光広、同主任 酒井治、同再任用職員 長瀬公治、子育て支援課長 西井上剛、学校教育課長 石川文子

傍聴者 2名

- 6 事務局出席者 議会事務局長 隅田昌輝、同主事 高山智史
- 7 会長あいさつ
- 8 執行機関あいさつ 建設部長より
- 9 協議事項

（1）公共施設再配置計画のモデルケースについて
都市整備課営繕グループ主幹：資料1に基づき説明。

【質疑】

鈴木会長：希望の家の指定管理について、指定管理を5年継続ということだが、第1期のモデルケースということでよいか。

都市整備課長：そのとおりである。

梅村議員：この資料は冊子の中に含まれるものか。

都市整備課長：この後説明する資料は、すべて冊子に盛り込む。さらに肉付け等をしていく。

大野副会長：総合体育文化センター、保健センター等のところで、「集約化」と「複合化」が混同されていないか。整理が必要かと思う。

都市整備課長：補足だが、保育園は6月27日に開催される懇話会の内容を盛り込んでいく。次回の協議会では、希望の家についてと、北小の市立体育館、第2児童館、及び大上市場会館の複合化についてまず議論いただけるようにしたい。

堀議員：希望の家について、以前の資料では、「廃止または譲渡」だったが、譲渡で決まったのか。

都市整備課長：5か年指定管理でやる間に、サウンディング調査を実施して決定する。議論の深化を妨げないよう、廃止という表現を避けた。

堀議員：これまでのモデルケースの変遷がわかるようにしたほうが良いのではないか。

都市整備課長：わかりやすくする。

黒川議員：第1期のとらえ方が、これまでと違うようだが。

都市整備課長：資料の表は、平成29年度に完結させるつもりで記載したもの。

裏面がこれから出していく予定のもの。

黒川議員：第1期は平成31年度から開始ということで、走りながら考えることになる。引き続き、現在の委員会方式を継続していくのか。

都市整備課長：平成30年度に策定した後は、しかるべき時期、4案を実施する時期が見えてきた時にワークショップを開催し、市民の意見を聞いていく。内部ではもう委員会がないので進行管理し、見直しを行っていく。

黒川議員：重要な事項は今後とも議会との協議、調整をお願いしたい。大切な事項なので、執行機関だけで完結しないでほしい。

都市整備課長：議会の協議会を継続していただきながら連携していく必要がある。

梶谷議員：モデルケース3について、大上市場会館の地元の人との調整も必要だと考える。

都市整備課長：地区集会施設はすべて地区に譲渡していく考え。学校の事情等で大上市場会館を併せて複合化することが難しくなるかもしれない。

堀議員：そうだとした場合地域住民との調整という記述は必要ではないか。

都市整備課長：北小学校の全体構想を考えてからでないと、市立体育館の動向も影響してくるため、対象とならない可能性もある現時点では想定していない。

堀議員：考えはわかるが、文面に起こす以上矛盾がないようにする必要がある。

木村議員：次回の公立保育園の懇話会で具体案が出てくると思うが、モデルケース④についてはどうか幼稚園との位置的な関係が議論になっていたようだが、どのように進めていくのか考えはあるか。

子育て支援課長：岩倉市の保育事業をどのように受け入れていくのか。保育の必要数を見ながら、どのように受け入れていくかを検討しなくてはいけない。

木村議員：モデルケースとして入れるのならばその調整も必要。下に書き添えてはどうか。市全体の保育園の配置も含めて検討が必要、等。

都市整備課長：正式なものになるまでに記述が変わることが前提。今回の資料はあくまでも現時点のもの。保育園の計画が出た時点で、この4案が可能かどうか議論すべきものと認識いただきたい。

鈴木会長：例えば北小学校の体育館の建て替えの話は都市整備課で話があがっているが、学校教育課では平成33年に建て替えの計画をしている。別々である。双方の話がどこかでリンクしないといけない。すり合わせはどこでどのように行うのか。

都市整備課長：明日、保育園の懇話会と公共施設再配置計画検討委員会とのすり合わせを予定している。常に学校教育課と都市整備課ですり合わせを行って

いる。

鈴木会長：北小学校の体育館は時間がないので、複合化の内容を来年の基本計画に入るまでに決めておかないと間に合わない。それをいつ誰とどこで協議して誰が決定するのか、流れが見えない。各担当部局が全部集まって、現在挙がっている内容を再度精査して、再度それを下ろしていくようにしないと、まとまらないように思う。学校教育課はどのように進めようとしているのか。

学校教育課長：協議会及び委員会に出席して、各委員からの意見は担当課として聞いており、協議も行っている。会議体をつくっているわけではないが、随時担当課で調整を行っていく。また、学校教育課から複合化案を提出するつもりはなく、再配置計画の中で決めていただき、これならできる、これはこういった課題がある、等を入れながら詰めて、来年度、基本計画に繋げていきたい。

鈴木会長：公共施設再配置の案が今年度中にまとまるが、それを反映して、来年度の基本計画から実施設計、建設へ繋げていくということでもいいか。

学校教育課長：そうである。

鈴木会長：6月27日の保育園の懇話会を待ってということだが、当初のスケジュールでは6月にはある程度の方針を示しますという話だった。示された方針をもとに再配置方針を検討していこうということだったが、現時点で示されていない。遅れが生じている。現時点で示せるものがあるのかないのか。

子育て支援課長：当初の予定では、6月に案を提示し、7月に開催する最終回の第6回懇話会で承認をいただくものであった。現時点において、全体計画の中での遅れは指摘のとおりかもしれないが、適正配置方針の懇話会のなかではスケジュール通りである。次回6月27日に案を提示し、修正等の後に7月に承認いただける状態にはなっている。

都市整備課長：6月27日に一定の案が出なければ間に合わないと私どもも認識しており、従前子育て支援課長から説明のあったとおりで、保育園については始めていく。極力、延ばさないつもり。

大野副会長：希望の家は譲渡で、廃止がなくなったので、サウンディングしてもしなくても、指定管理5年でも、修繕したものを譲渡するという修繕計画をつくるのか。

都市整備課長：サウンディング調査の結果で決める。D評価が5年で改善されなければ、廃止もしていかなければならないと考える。13%減らさなくては、将来、岩倉市として駄目という結果が出ている以上は、担当部署に廃止を検討するよう5年間の見直しの中で言っていく必要がある。

（2）サウンディング調査について

都市整備課主任：資料2-1～2-3に基づき説明。

【質疑】

大野副会長：私は桑名市にサウンディングについて調査に行ったが、岩倉市の規模では委託しないとうまくいかないのではないかな。

都市整備課長：春日井市のように規模は大きくないので、企業数も少ないため、委託も考えながら市内の業者にあたっていく。

鈴木会長：サウンディングのやり方に疑問がある。民間事業者と対話するタイミングで、方向性が決まってくる。その後にプロポーザルを実施することになっているが、希望の家は利活用についてプロポーザルを実施するべきと思う。先に方向性を決めておいて、これでやるところは手を挙げてくださいというのが一般的なのか。

大野副会長：土地を含めた有効活用についてサウンディング調査をするつもりだと思う。

鈴木会長：それなら、提案をプロポーザルで求めるのでは。

都市整備課長：資料に掲げた条件を示したうえでサウンディングする。市でもある程度の条件は示したうえで、これで何ができますかと問いかける。春日井だと5社から提案があった。それをみて、プロポーザルとなる。まずは予備調査というか、市の思いを伝えて、これならこういうことが（できる）という提案をみて、いい所取りをしてプロポーザルにかけるという流れを考えている。青少年の育成、という点は外せないのかなと考える。避難所としての与条件も。

大野副会長：サウンディング調査では知的財産の保護について、去年の講演会で寺沢講師が話をされた。インセンティブもないのに、サウンディング調査で出た知的財産を公にしてしまうことは問題で、プロポーザルにどう反映させるかは難しい。講演会で印象に残った。いくつかの市では、サウンディングで出たアイデアをすべて他の会社に投げてしまった例もあるようだ。問題になっているということを頭に入れておいてほしい。

（３）施設ごとの再配置方針について

都市整備課長：資料３の３頁以降について、４月２７日の公共施設再配置計画検討委員会で配布したのだが、本協議会でも配布したつもりで答弁していた。申し訳なかった。さらにこの資料３について、委員会後に記述に関する指摘があり、変更が必要な部分もある。今日配布したものは、まだ修正を加えていない。改めてこの場で説明をしたい。

都市整備課主幹：資料３に基づき説明。

【質疑】

鈴木会長：いったん持ち帰り次回質疑を行う。公共施設の長寿命化計画の今後の予定は。

都市整備課長：現在作成中。次回から施設類型毎にご意見を賜りたい。

鈴木会長：保育園について、懇話会後に修正案を示してもらえるのか。

教育こども未来部長：必要なものを提示する。

堀議員：以前、学校の長寿命化だったと思うが、大規模改修と日常修繕の認識が噛み合わなかったことがある。はっきりさせるべきでは。

鈴木会長：その件については一度、整理したいと思っていた。コンサルタント会社に頼んで、違いを資料にまとめてもらえないだろうか。検討してもらいたい。

（４）その他

なし

１０ その他

なし

次回日程：７月１７日（火）午後１時１５分から